

# 日本語学会の活性化についてのアンケート結果

2018.12.10 日本語学会事務局委員会

## 《実施概要》

回答期間：2018年10月5日～11月1日<sup>1</sup>

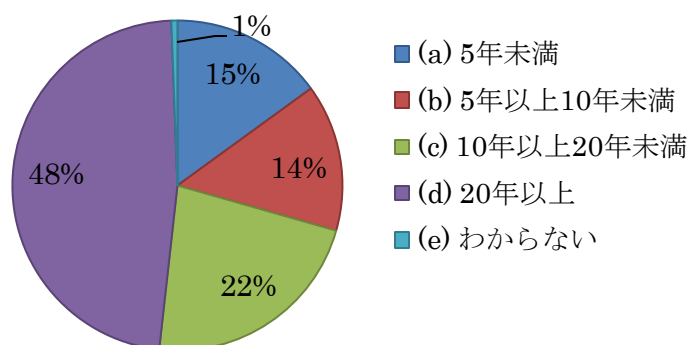
回答数：340件

## 《回答集計》

### 1. あなた自身について

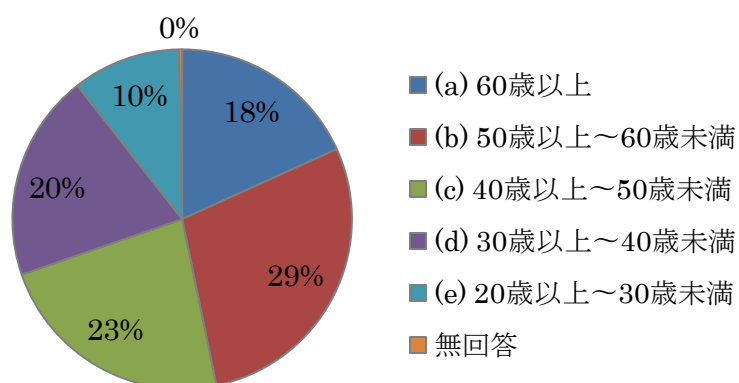
□問 1-1 日本語学会に入会してから何年になりますか。(回答者数 340, 回答率 100%)

|                |     |
|----------------|-----|
| (a) 5年未満       | 51  |
| (b) 5年以上10年未満  | 49  |
| (c) 10年以上20年未満 | 76  |
| (d) 20年以上      | 162 |
| (e) わからない      | 2   |



□問 1-2 あなたの年齢をお答えください。(回答者数 339, 回答率 99.7%)

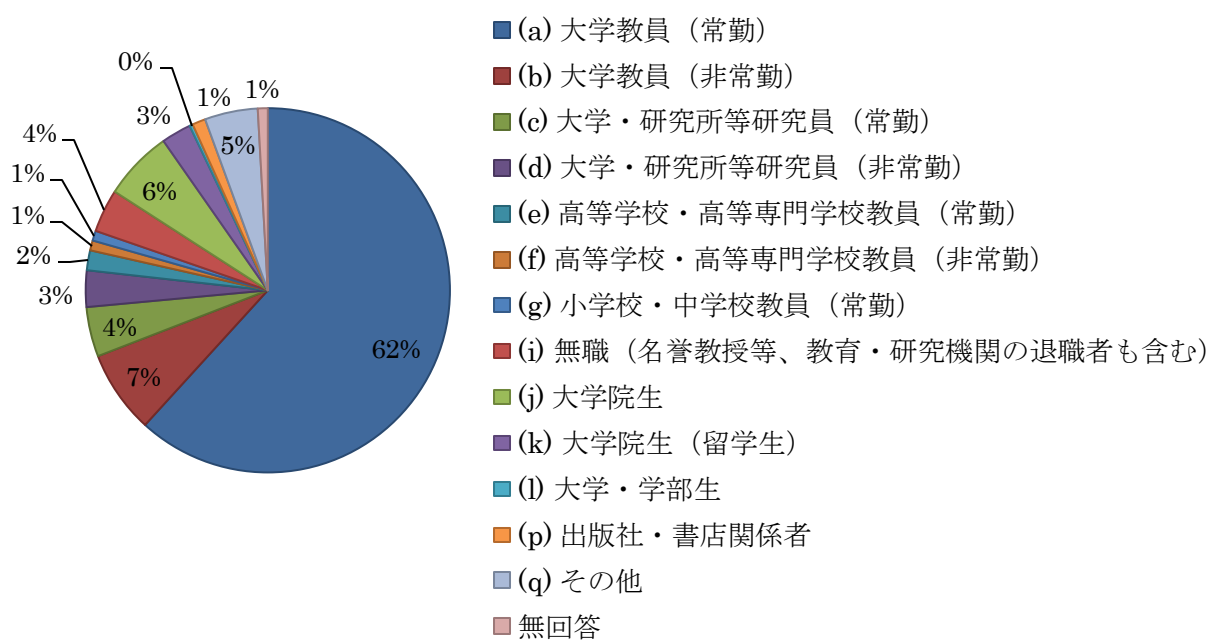
|                 |    |
|-----------------|----|
| (a) 60歳以上       | 62 |
| (b) 50歳以上～60歳未満 | 97 |
| (c) 40歳以上～50歳未満 | 78 |
| (d) 30歳以上～40歳未満 | 67 |
| (e) 20歳以上～30歳未満 | 35 |
| (f) 20歳未満       | 0  |
| 無回答             | 1  |



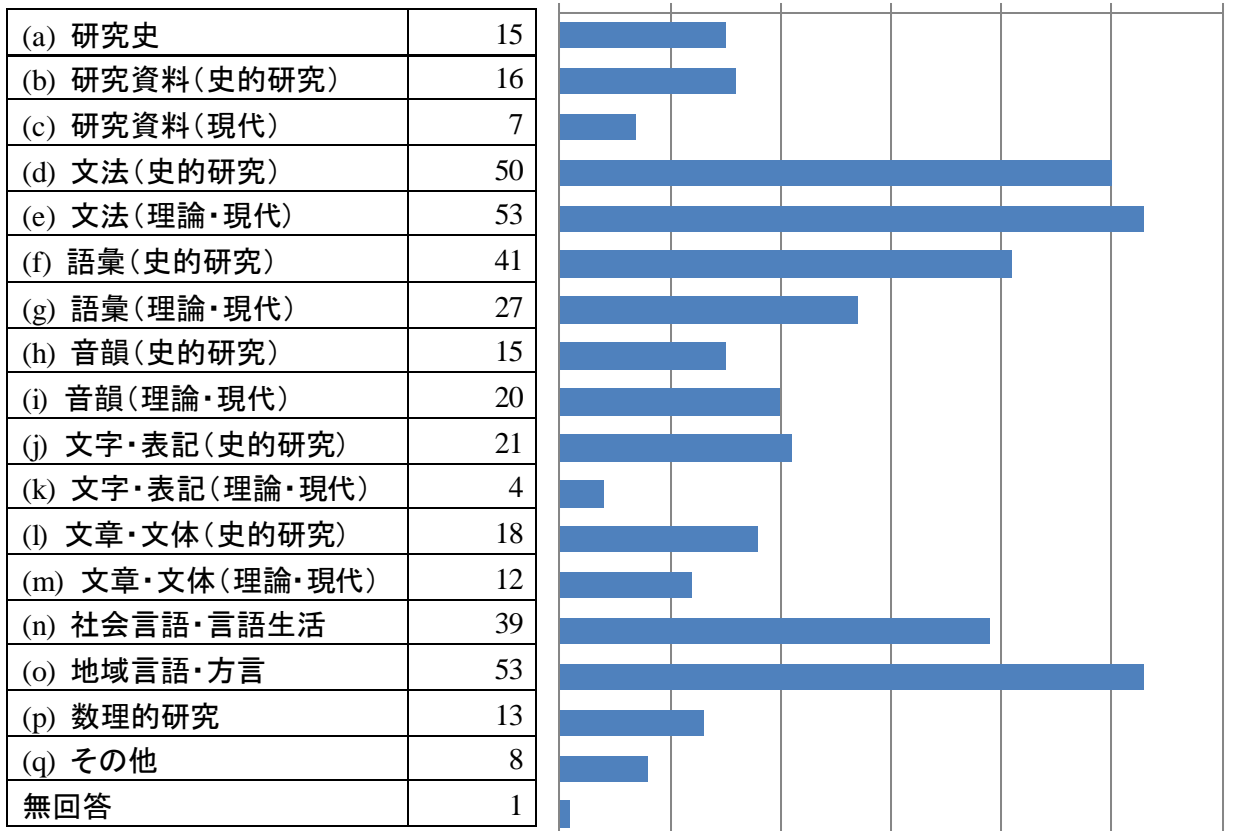
<sup>1</sup> 回答期限は10月31日としていましたが、海外会員等のタイムラグを考慮し11月1日分の回答まで有効としました。

□問 1-3 今年度、もっとも勤務・就学時間の長いものを1つ選んでお答えください。(回答数 337, 回答率 99.1%)

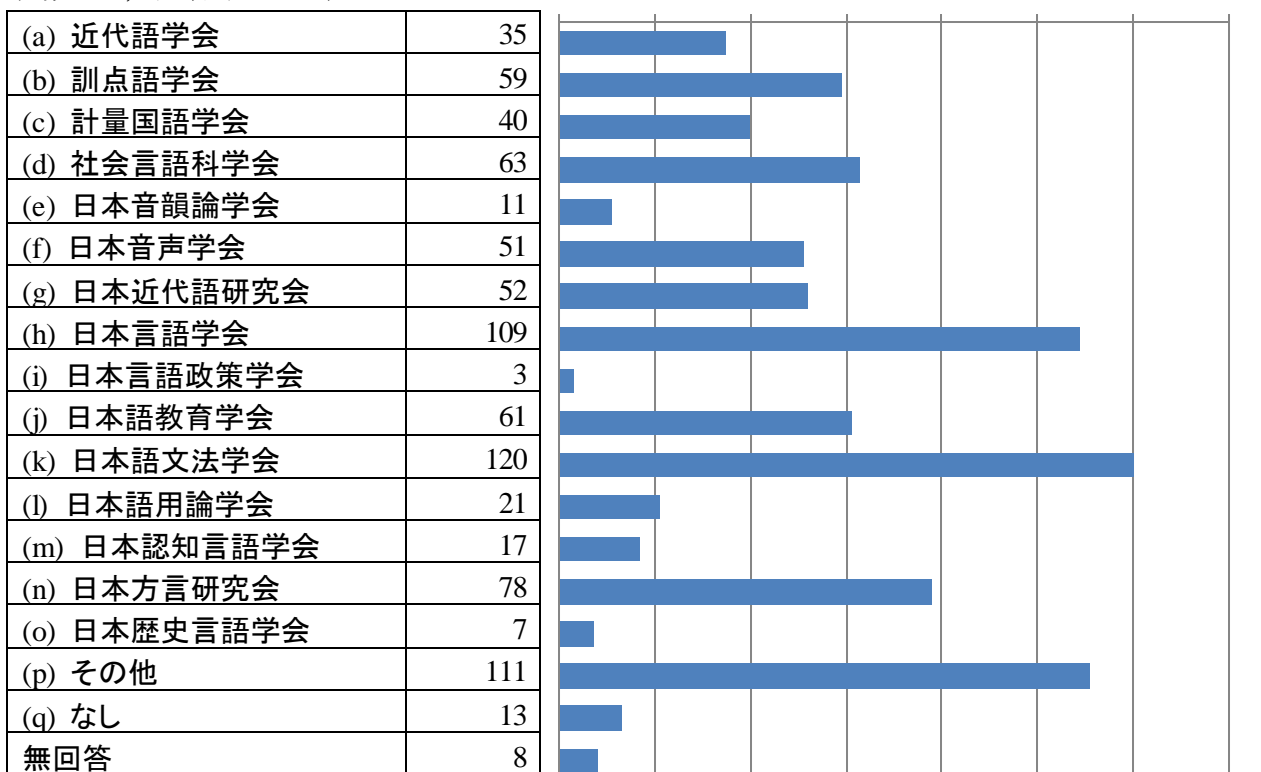
|                              |     |
|------------------------------|-----|
| (a) 大学教員(常勤)                 | 210 |
| (b) 大学教員(非常勤)                | 25  |
| (c) 大学・研究所等研究員(常勤)           | 15  |
| (d) 大学・研究所等研究員(非常勤)          | 11  |
| (e) 高等学校・高等専門学校教員(常勤)        | 6   |
| (f) 高等学校・高等専門学校教員(非常勤)       | 3   |
| (g) 小学校・中学校教員(常勤)            | 3   |
| (h) 小学校・中学校教員(非常勤)           | 0   |
| (i) 無職(名誉教授等、教育・研究機関の退職者も含む) | 13  |
| (j) 大学院生                     | 21  |
| (k) 大学院生(留学生)                | 9   |
| (l) 大学・学部生                   | 1   |
| (m) 大学・学部生(留学生)              | 0   |
| (n) 研究生・科目等履修生等の非正規学生        | 0   |
| (o) 研究生・科目等履修生等の非正規学生(留学生)   | 0   |
| (p) 出版社・書店関係者                | 4   |
| (q) その他                      | 16  |
| 無回答                          | 3   |



□問 1-4 あなたのご専門について、当てはまるものを選んでください。【複数回答可】（回答者数 339, 回答率 99.7%）

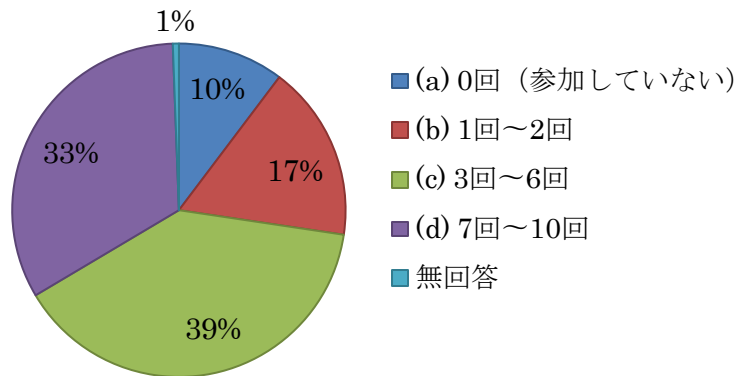


□問 1-5 言語系の学会で、他に加入している学会・研究会をお答えください。【複数回答可】（回答者数 332, 回答率 97.6%）



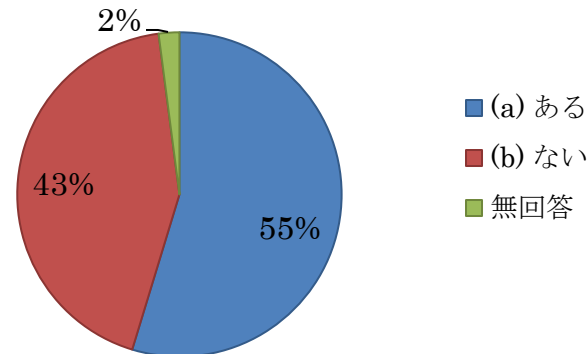
□問 1-6 ここ5年の間に、何回くらい大会に参加されましたか。(回答者数 338, 回答率 99.4%)

|                 |     |
|-----------------|-----|
| (a) 0回(参加していない) | 35  |
| (b) 1回~2回       | 58  |
| (c) 3回~6回       | 133 |
| (d) 7回~10回      | 112 |
| 無回答             | 2   |



□問 1-7 入会以来、日本語学会の機関誌『日本語の研究』『国語学』に投稿・寄稿されたことはありますか(採用・不採用は問いません。短信、書評、展望を含みます)。(回答者数 333, 回答率 97.9%)

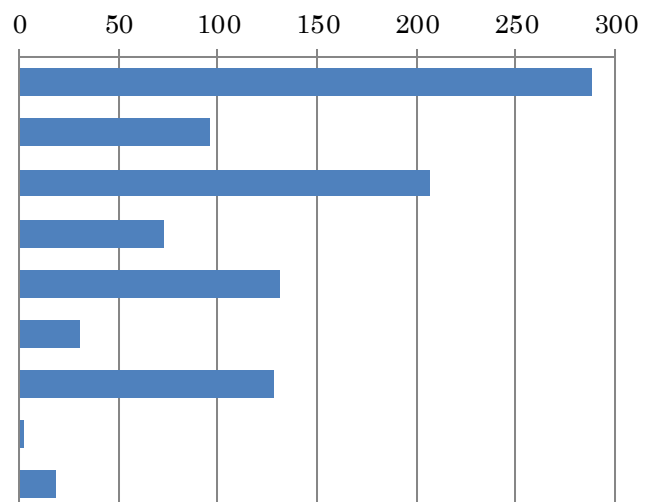
|        |     |
|--------|-----|
| (a) ある | 186 |
| (b) ない | 147 |
| 無回答    | 7   |



## 2. 機関誌について

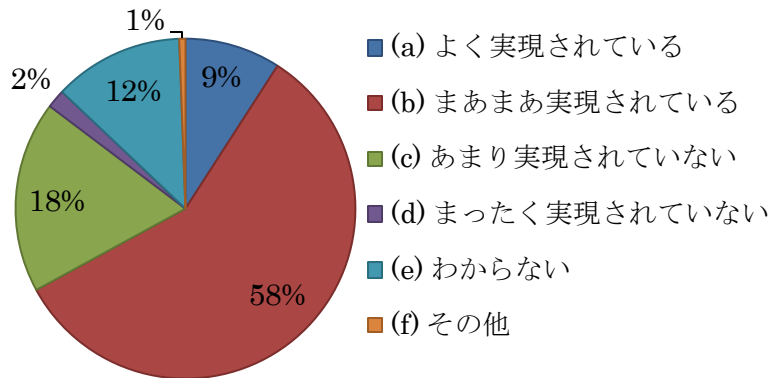
□問 2-1 あなたが、日本語学会の機関誌『日本語の研究』に望むものは何ですか。【複数回答可】  
(回答者数 340, 回答率 100%)

|                     |     |
|---------------------|-----|
| (a) 質の高い掲載論文        | 289 |
| (b) 広く世界の日本語研究者への流通 | 96  |
| (c) 日本語に関する幅広い領域の議論 | 207 |
| (d) 迅速な査読           | 73  |
| (e) 的確で丁寧な査読コメント    | 131 |
| (f) 論文賞             | 31  |
| (g) 最新の書評や新書紹介      | 128 |
| (h) わからない           | 2   |
| (i) その他             | 19  |



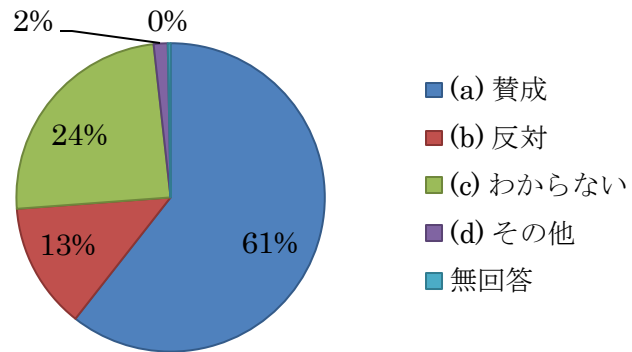
□問 2-2 その期待は現在実現されていますか。(回答者数 340, 回答率 100%)

|                  |     |
|------------------|-----|
| (a) よく実現されている    | 31  |
| (b) まあまあ実現されている  | 197 |
| (c) あまり実現されていない  | 62  |
| (d) まったく実現されていない | 6   |
| (e) わからない        | 42  |
| (f) その他          | 2   |



□問 2-3 『日本語の研究』の J-Stage による電子化公開を進めています。一部の言語系学会では、刊行と同時にオープン・アクセスで公開する試みを実施されています。この方式を日本語学会で取り入れるべきかどうかという点について、あなたご自身はどう思われますか。(回答者数 339, 回答率 99.7%)

|           |     |
|-----------|-----|
| (a) 賛成    | 206 |
| (b) 反対    | 45  |
| (c) わからない | 83  |
| (d) その他   | 5   |
| 無回答       | 1   |

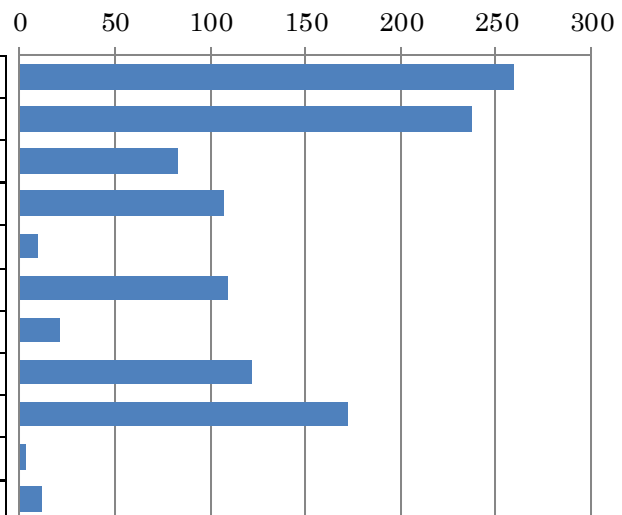


□問 2-4 【任意項目】 そのように考える理由をお答えください。(回答者数 138, 回答率 40.6%) (記述項目, 省略)

### 3. 大会について

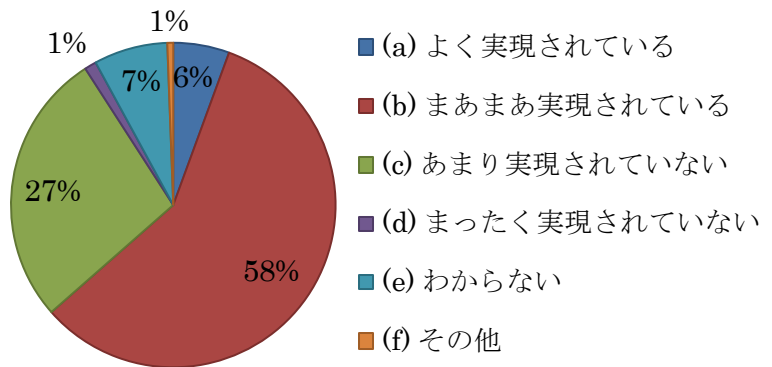
□問 3-1 あなたが、日本語学会の大会に望むものは何ですか。【複数回答可】(回答者数 340, 回答率 100%)

|                      |     |
|----------------------|-----|
| (a) 質の高い発表           | 260 |
| (b) 最新の成果の発表         | 238 |
| (c) 多数の発表            | 83  |
| (d) 高名な研究者の発表(または講演) | 107 |
| (e) 外国語による発表         | 10  |
| (f) シンポジウム           | 109 |
| (g) 大会発表賞            | 21  |
| (h) 書籍展示             | 122 |
| (i) 会員同士の情報交換・交流     | 172 |
| (j) わからない            | 3   |
| (k) その他              | 12  |



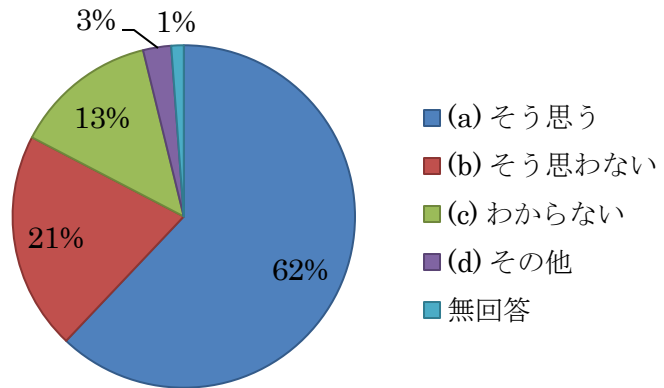
□問 3-2 その期待は現在実現されていますか。(回答者数 340, 回答率 100%)

|                  |     |
|------------------|-----|
| (a) よく実現されている    | 19  |
| (b) まあまあ実現されている  | 197 |
| (c) あまり実現されていない  | 93  |
| (d) まったく実現されていない | 4   |
| (e) わからない        | 25  |
| (f) その他          | 2   |



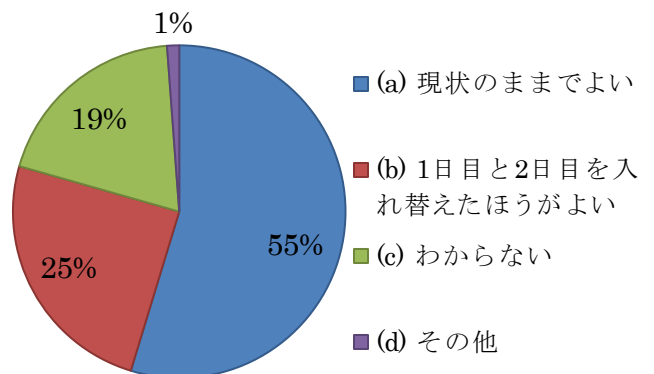
□問 3-3 一部の言語系学会では、大会発表予稿集の事前の電子化公開（ペーパーレス化）が行われています。日本語学会でも大会発表予稿集の事前の電子化公開をすべきだと思いますか。(回答者数 366, 回答率 98.8%)

|            |     |
|------------|-----|
| (a) そう思う   | 211 |
| (b) そう思わない | 70  |
| (c) わからない  | 46  |
| (d) その他    | 9   |
| 無回答        | 4   |



□問 3-4 現在、口頭発表を1日目とし、ブース発表、シンポジウム、ワークショップ等を2日目とするプログラムで実施しています。この順序についてどう思いますか。(回答者数 340, 回答率 100%)

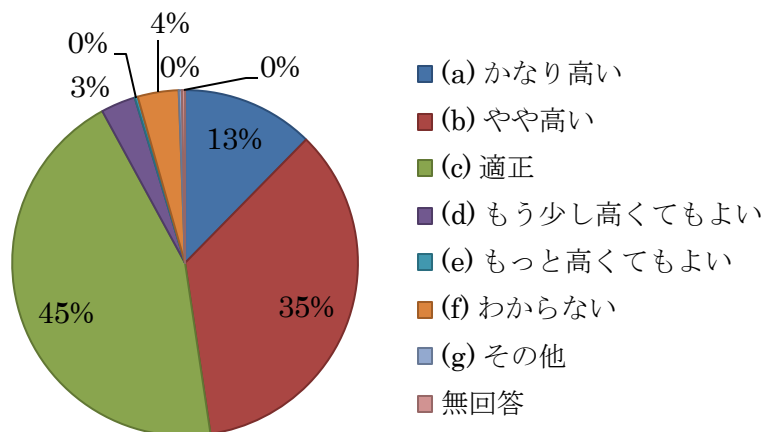
|                        |     |
|------------------------|-----|
| (a) 現状のままでよい           | 186 |
| (b) 1日目と2日目を入れ替えたほうがよい | 84  |
| (c) わからない              | 66  |
| (d) その他                | 4   |



## 4. 会費について

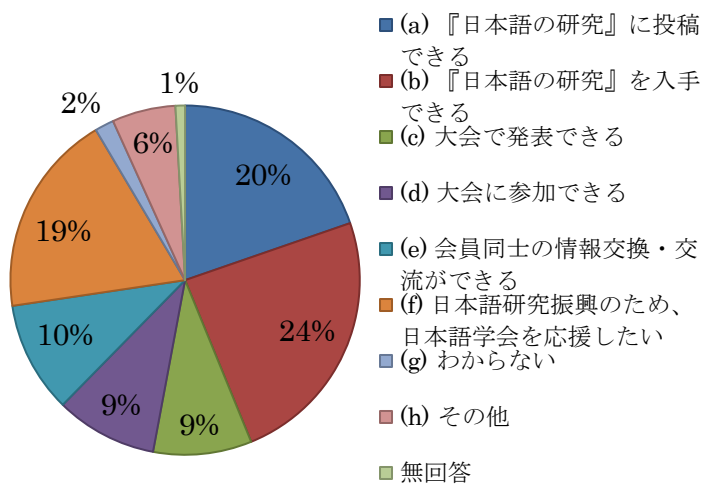
□問 4-1 現在の学会の活動やサービスに対して、会費は見合っていると思いますか。(回答者数 399, 回答率 99.7%)

|                |     |
|----------------|-----|
| (a) かなり高い      | 42  |
| (b) やや高い       | 120 |
| (c) 適正         | 151 |
| (d) もう少し高くてもよい | 11  |
| (e) もっと高くてもよい  | 1   |
| (f) わからない      | 13  |
| (g) その他        | 1   |
| 無回答            | 1   |



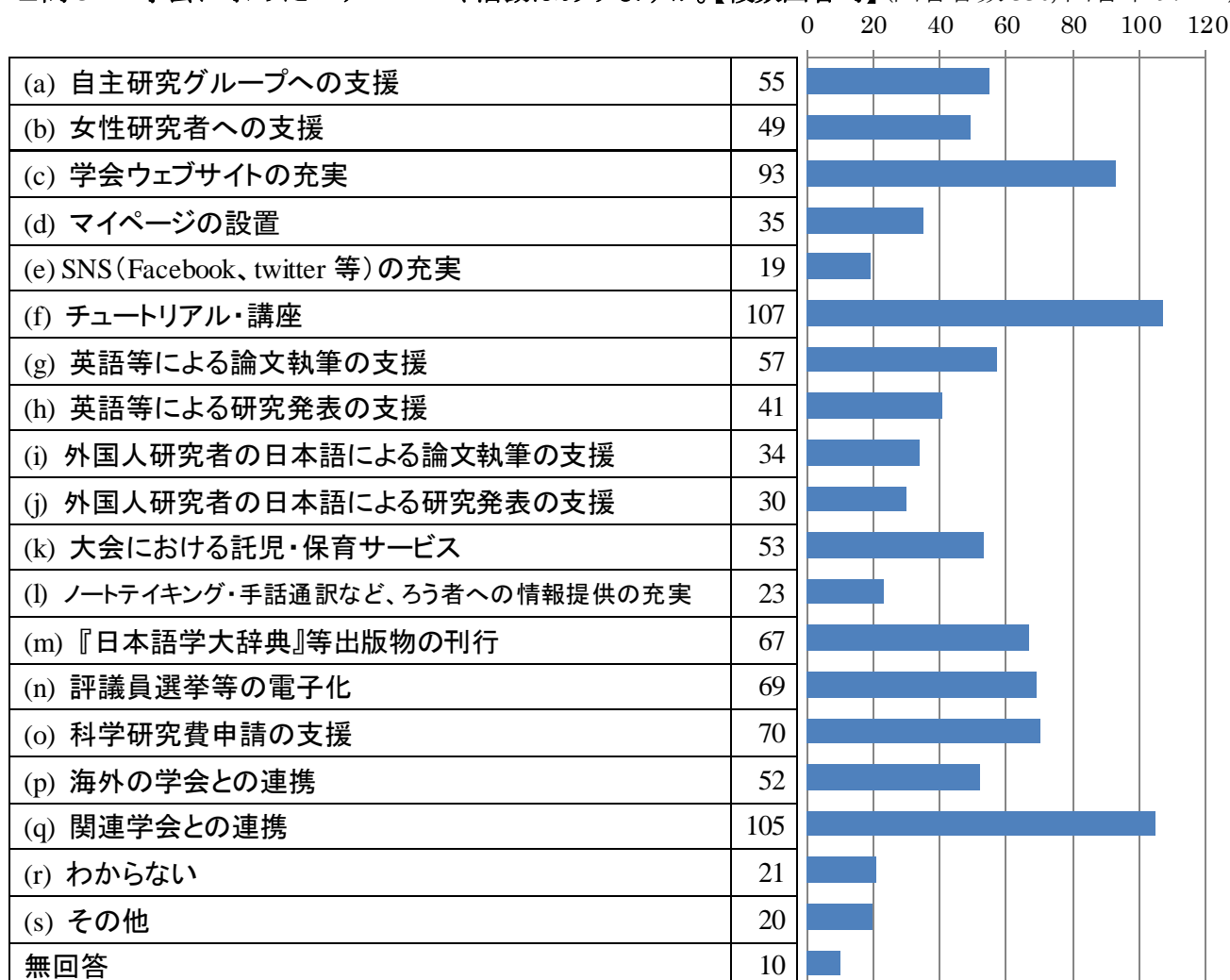
□問 4-2 あなたが日本語学会の会員である最大の理由は何ですか。(回答者数 337, 回答率 99.1%)

|                            |    |
|----------------------------|----|
| (a) 『日本語の研究』に投稿できる         | 67 |
| (b) 『日本語の研究』を入手できる         | 82 |
| (c) 大会で発表できる               | 31 |
| (d) 大会に参加できる               | 32 |
| (e) 会員同士の情報交換・交流ができる       | 35 |
| (f) 日本語研究振興のため、日本語学会を応援したい | 64 |
| (g) わからない                  | 6  |
| (h) その他                    | 20 |
| 無回答                        | 3  |



## 5. その他のサービスについて

□問 5-1 学会に求めたいサービスや活動はありますか。【複数回答可】(回答者数 330, 回答率 97.1%)



□問 5-2 【任意項目】最後に、日本語学会の運営について、ご意見・ご要望があればお書きください。(回答数 104, 30.6%) (記述項目, 省略)